

国語採点基準

(総点100点)

- (注意)
- この配点は、標準的な配点を示したものである。
  - 定められた答えの欄に答えが書かれていないときは、点を与えない。
  - 指示された答えと違う表現で答えの欄に記入されていても、正答と認められるものには、点を与える。
  - 定められた数より多く答えたときは、点を与えない。
  - 採点上の細部については、各学校の判断によるものとする。

問題	正	答	配点
1	1	(1) きぎ(む)	2
		(2) せつやく	2
		(3) なが(める)	2
		(4) かつあい	2
		(5) いこ(い)	2
	2	(1) 保(つ)	2
		(2) 告(げる)	2
		(3) 豊富	2
		(4) 優勢	2
		(5) 採寸	2
	3	エ	2
	4	ウ	2
	5	イ	2
	6	エ	2
	7	ア	2
2	1	おおく	2
	2	ア	2
	3	(例) 借りた物の返済にあてること。	2
	4	ア	2
	5	ウ	2
3	1	ウ	2
	2	個人主義が浸透している社会。	3
	3	エ	3
	4	(例) 賀状交換によって自分という存在の承認のされ方を実感したとき。	4
	5	イ	4
	6	ウ	4
4	1	エ	3
	2	ウ	3
	3	イ	2
	4	いつもなら	4
	5	(例) 弟子となったからには覚悟を決めて修業に耐えようという思い。	4
	6	ア	4
5	<p>(評価の観点)</p> <p>1 形式 目的に応じた適切な叙述であるか。 字数が条件に合っているか。</p> <p>2 内容 AとBの表現の違いに触れているか。 自分の考えとその理由が明確に表現されているか。 話題が適切で説得力があるか。</p> <p>3 表現・表記 文体に統一性や妥当性があるか。主述関係や係り受けなどが適切であるか。 語句が適切に使用されているか。誤字・脱字がないか。</p> <p>※ これらの項目に照らし、各学校の実態に即して総合的に評価するものとする。</p>		20
			30
			10
			20
			20